

減反廃止による農政区長の役割は

近藤 佳治 議員

答 準備段階であり、具体的なことは分からない

生産者や農業団体が生産量を判断する仕組みへ移行する。生産調整の廃止に伴う農政区長の役割は、**市長** 現在、国や県が政策転換に向け、準備をしている段階であり、具体的なことは分からない。**農政課長** 作物の振興や国・県の事業、地域計画の検討などの業務は残るだろう。

が建設されているが、大豆の作付拡大を図るのか。**農政課長** 基本的には、現在の栽培体制を守っていき、米消費量の減少、減反廃止に伴う生産過剰やTPPの影響により、米価下落になる可能性がある。そのような状況になれば、大豆作付は増加していくだろう。

問 政府は平成30年度を
目途に生産調整を廃止し、



米の生産調整に伴い作付けされた大豆

問 現在、大豆プラント

**大豆の作付
拡大を図るのか**

**非主食用米の
作付状況は**

問 今後、人口減少に伴い、主食用米の消費は減少する。それに代わるものとして国は非主食用米を推進しているが、筑後市における作付状況は。**農政課長** 未成熟米を稲ごと収穫して発酵させ、乳牛の飼料にするWCS、鶏や豚などの飼料にする飼料用米、また米粉用米の価格変動により今後作付拡大も考えられる。

球場西側の開発が必要では

弥吉治一郎 議員

答 開発には具体的な計画が必要

問 筑後市への来客を増やすには、ファームでは日本一と言われる屋内練習場を見学し、併せて周辺の観光地を巡るツアーなどを計画しては。また、球場の西側農地の開発も必要では。

小中学生は試合に招待されたのか

市長 筑後市の新しい観光資源として、今後も本

問 球団は、市内の小中学生を年に1回は試合観



開発が必要な球場西側の農地

市に来てもらえるような企画を考えたい。周辺は優良農地で、開発には具体的計画が必要である。

戦に招待すると約束しているが。**ホークスファーム連携推進室長** そういう協定内容だが、今シーズンは実施されていない。

問 協定違反では。ソフトバンクに対しては、3年間の固定資産税相当額を補助する協定を結んでいるが、この補助は連携協定の履行が前提では。**ホークスファーム連携推進室長** 来シーズンは確実に実施できるよう、気を引き締めて交渉する。

問 市長は選手のサインを球団に要請したり、球場から車で送ってもらったりしているのか。

市長 一度だけ市役所に行くついでに乗せてもらった。サイン入りのユニホームは1枚もらった。